



2024年度 東北地理学会 春季学術大会 プログラム

(東北大学大学院環境科学研究科 共催)

1. 期 日 2024年5月18日(土)～19日(日)
2. 会 場 東北大学大学院 環境科学研究科 本館(2～4階)
〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1

3. 日 程

	第一会場			第二会場		
	時刻		発表番号	時刻		発表番号
5月18日(土)	09:30～11:50	研究発表(人文①)	111～116	09:30～11:50	研究発表(自然①)	121～125
	11:50～13:20	昼休み		11:50～13:20	昼休み	
	12:00～13:00	評議会				
	13:20～16:10	研究発表(人文②)	211～216	13:20～16:20	研究発表(自然②)	221～226
	16:30～17:30	総会				
	18:00～20:00	懇親会 ※場所は下記参照				
5月19日(日)	09:30～11:50	研究発表(人文・共通)	311～315			
	11:50～13:10	昼休み				
	13:20～15:30	研究発表(共通)	411～415			

4. 懇親会 日 時 5月18日(土) 18:00～20:00
会 場 みどり食堂(青葉山新キャンパス 青葉山コモンズ内)
会 費 6,000円(学生・院生 3,000円)
※ 当日、大会受付または懇親会受付にて、現金でお支払いください。
5. 交 通 仙台市営地下鉄 東西線 青葉山駅 南1出口 徒歩約3分
(仙台駅から乗車9分, 250円)
アクセス方法(環境科学研究科webページ)
<http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/access.html>
6. 宿 泊 仙台市内のホテル等をご利用ください。
7. 昼 食 大学構内のコンビニ等が利用可能です。
※日曜日は最寄りのコンビニが休業のため、持参されることをお勧めします。

※研究発表 L：発表時間20分＋質疑時間8分 S：発表時間12分＋質疑時間8分 *：口頭発表者
P：プロジェクト使用

① 5月18日(土) 午前

第一会場(人文分野) 発表：09:30～11:50

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者(所属)	題目
111	9:30	S 12分	P		雪ノ浦和奏*(株)白石食品工業・岩動志乃夫(東北学院大)	盛岡市におけるパン製造小売店の展開と立地特性 —個人自営製造小売店を事例として—
112	9:50	L 20分	P		岩動志乃夫(東北学院大)	国産ホップの栽培状況と遠野市におけるビールの里構想への取り組み
113	10:20	S 12分	P		稲葉雅子(東北大・研)	被災地における水産オープンファクトリー展開と効果について
114	10:40	L 20分	P		横山貴史(宮城教育大)	社会・環境変化への漁村の対応と共同性：牡鹿半島東浜地域の事例
115	11:10	S 12分	P		菅澤雄大*(明治大学付属明治高等学校・中学校)・佐島 健(佼成学園中高)	震災復興における祭礼の寄与 —岩手県宮古市重茂地区O集落を例に—
116	11:30	S 12分	P		トセイコウ*・張紫琳(熊北大・院)・山本耕三(熊北大)	東日本大震災以降の塩竈市中心市街地における事業所の復旧・移転・開業

第二会場(自然分野) 発表：09:30～11:50

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者(所属)	題目
121	9:30	S 12分	P		大向聡士*(東北大・院)・大月義徳(東北大)	船形連峰北東部における地すべり移動体群の活動度評価
122	9:50	L 20分	P		古谷尊彦((株)日さく)	大規模地すべり唐花見・相川が有する幾つかの課題について
123	10:20	L 20分	P		吉野智之*(元東北大・院)・大月義徳(東北大)	火山岩・火砕岩丘陵地における斜面崩壊と微地形および土層構造 —宮城県高館丘陵の事例—
124	10:50	L 20分	P		古市剛久*(森林総研)・水垣滋(土木研究所)・小山内信智(砂防・地すべり技術センター)・柳井清治・大丸裕武(石川県立大)	斜面崩壊で荒廃した北海道の山地流域における土砂流出の経年変化と裸地斜面での斜面プロセス
125	11:20	L 20分	P		澤田康徳(東京学芸大)	中小規模都市常総市内の暖候期(5～10月)における狭域な小雨発現の気候学的特徴

② 5月18日(土) 午後

第一会場(人文分野) 発表：13:20～16:10

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者(所属)	題目
211	13:20	L 20分	P		卯田卓矢(名桜大)	人口減少地域における神社活性化策としての「巡り」の創出 —千葉県沿岸地域を事例に—
212	13:50	L 20分	P		山口泰史*(帝京大)・松山薫(武庫川女子大)	映画「007」のロケ地巡りツアーにおける参加者の評価と今後の課題 —鹿児島県を例に—
213	14:20	S 12分	P		柳津英敬(東北大・研)・齋藤怜*(東北大・助)	震災伝承施設の立地状況と課題
214	14:40	L 20分	P		山田晴通(東京経済大)	臨時災害放送局から移行新設された三陸地方の公設民営型コミュニティ放送局
215	15:10	L 20分	P		駒木野智寛(北海道大)	北海道・北東北の縄文遺跡群における配石遺構の地理学的研究
216	15:40	L 20分	P		杉浦直(元岩手大)	米地文夫「宮沢賢治研究」 —方法と特質—

第二会場(自然分野) 発表：13:20～16:20

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者(所属)	題目
221	13:20	L 20分	P		高橋尚志*(東北大)・市川玲輝((株)パンフィックコンサルタンツ)・諏訪貴一(東北大・院)・小倉拓郎(兵庫教育大)・遠田晋次(東北大)	東北地方、栗駒火山における中期完新世以降のラハール堆積物と泥質テフラの規模と年代
222	13:50	L 20分	P		北村繁*(新潟大)・村野正景(京都府京都市文化博物館)	火山ガラスのWDS分析からみた土器製作への火山灰利用～ 中米・エルサルバドル、チャルチュアパ地域のウズルタン様式土器の分析事例
223	14:20	L 20分	P		檜垣大助*(日本工営株)・Kishor Kumar Karki(元ネパール森林土壌保全省)・S.C. Amatya(Nepal Development Research Institute)	ネパールにおけるバイオエンジニアリングによる土地保全 —20年後の状況—
224	14:50	L 20分	P		楡井涼希*(元東北大・院)・大月義徳(東北大)	衛星リモートセンシングによる中央ケニア半乾燥地域における土壌浸食評価
225	15:20	L 20分	P		宮城豊彦*(国際マングローブ生態系協会・地域情報カスタマイズユニット)・馬場繁幸(国際マングローブ生態系協会)・山本敦也(中日本航空(株))・柳沢英明(東北学院大)・井上智美(国立環境研)・内山庄一郎(防災科研)・笠井克己(東京大・院)	マングローブハビタットダイナミクスの包括的・高精度の計測体制構築とその意義
226	15:50	L 20分	P		小元久仁夫(元日本大)	ビーチロックの形成年代の決定法

③ 5月19日(日) 午前

第一会場(共通・人文分野) 発表: 09:30~11:50

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者(所属)	題目
311	9:30	L 20分	P		榎引素夫*(青森大)・青山健太・石倉翠聖・木村拓海・工藤康晴・鈴木流由・高橋来夢・中田大雅・藤田奏・安田悠人・山崎要太郎(青森大・学)	青森市・幸畑団地における2023年夏の空き家と新築住宅の動向
312	10:00	L 20分	P		田明宇(筑波大・院)	東京都新宿区百人町における中国系ビジネス空間の形成
313	10:30	L 20分	P		桜井愛子(神戸大・東北大)	ブータンにおける学校防災
314	11:00	L 20分	P		村山良之*(元山形大)・桜井愛子(神戸大・東北大)・佐藤健(東北大)・北浦早苗・小田隆史(東京大)・熊谷誠(山形大)	防災に役立つ地理の常識を伝える―「地形を踏まえたハザードマップ3段階読図法」と「大雨時の時空間シナリオ」―
315	11:30	S 12分	P		高橋信人*・中沢峻(宮城大)	シラバスに基づく地域系学部におけるフィールドワークの実施内容に関する分析

④ 5月19日(日) 午後

第一会場(共通・人文分野) 発表: 13:20~15:30

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者(所属)	題目
411	13:20	S 12分	P		七海陽花*(東北学院大・院)・目代邦康(東北学院大)・熊木洋太(元専修大)	磐梯山ジオパーク周辺地域における東日本大震災前後の入込客数の推移
412	13:40	S 12分	P		三浦健新*(宮城教育大・学)・西城潔(宮城教育大)	整備/未整備竹林の林内環境評価の試み ―宮城県名取市愛島地区を中心に―
413	14:00	L 20分	P		岩船昌起(鹿児島大)	標高データに基づく難病患者の個別避難計画の策定 ―薩南諸島での自治体・保健所と連携した取り組み
414	14:30	L 20分	P		黒木貴一(関西大)	仙台平野南部の神社の奉納物と津波被害の関係
415	15:00	L 20分	P		阿子島功(元山形大)	崖錐における山津波・地震落石の史料3例